

## 1 - 5 広島県大久野島の海岸で発見されたあか筒と推定される金属塊



写真1 小あか筒と推定される金属塊



写真2 発射あか筒もしくは発射発煙筒の内側と推定される金属塊



写真3 中あか筒の破損部品と推定される金属塊



写真4 同左を上方から撮影したもの

写真撮影(4枚とも):環境省

### 金属塊の概要

写真1 長さ約200mm、直径約47～59mm(小あか筒と推定される金属塊)

写真2 長さ約200～240mm、直径約50～60mm(発射あか筒もしくは発射発煙筒の内側と推定される金属塊)

写真3 長さ約200～240mm、直径約130～140mm(中あか筒の破損部品と推定される金属塊)

これらは平成9年から平成12年にかけて広島県大久野島の海岸で発見されたあか筒と推定された金属塊です。分析の結果、毒ガス成分とそれが変化したと見られる有機ヒ素化合物が検出されましたが、毒ガス成分の濃度は低く、すでに活性は失われていると判断されました。